

第1号様式（第6条関係）

伊勢原市協働事業提案書

平成30年12月 3日

伊勢原市長 殿

住 所

団体名 伊勢原手作り甲冑隊

代表者氏名 若林 紘一

伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第6条の規定により、次のとおり提案します。

提案区分	☒ 市民提案型協働事業 ☐ 行政提案型協働事業
協働事業名	31 手作り甲冑展示会・甲冑教室開催
添付資料	(1) 団体概要（第2号様式） (2) 協働事業実施計画書（第3号様式） (3) 協働事業収支予算書（第4号様式） (4) 規則、定款、規約、会則その他これに準ずるものの写し (5) 会員、構成員の名簿の写し (6) 前年度の活動報告書及び収支決算書の写し

団 体 概 要

H30年12月 3日現在

団 体 名	いせはらてづくり 伊勢原手作り甲冑隊	
所 在 地	[REDACTED] [REDACTED]	
代 表 者	若林 紘一	
設 立 年 月	平成 15年10月	
会員の状況	会員 115 人（うち伊勢原市民70人）	
業 務 内 容	シニアの力で甲冑を手作りし「伊勢原観光道灌まつり」を市民の武者行列で一杯にする志で平成15年伊勢原手作り甲冑隊を24名で設立。武者100人隊を目標に活動を続け30年度は76名の行列列となり本年15年を迎えた。道灌まつりの武者行列が評判になり評価され、年々出陣要請が増え続け、昨年度は32回1,066名の出陣実績となり2年続けて1千人を超して大きな成果を挙げました。出陣範囲は市内中心ですが東京、滋賀県等市外にも出陣致しました。出陣内容はパレード、各種まつり（含む公民館まつり）、観光道灌祭を筆頭に道灌の集い、甲冑展示会、大山マラソン応援、おおやまみちサミット、サポセンフェスタ等多岐に及んでいる。特質は滋賀草津市宿祭り、横浜港大栈橋で伊勢原シテイプロモーション活動、東京日暮里道灌まつり等に出陣致し伊勢原の名を印象付けたと自負致しているところです。皆様のおかげで甲冑隊創立15周年を祝う事が出来ました。	
主な公益活動 の 実 績	・21年12月子供科学館との共催で甲冑展示会開催 ・24年11月日吉商店連合会と伊勢原商店連合会協定に基づき日吉道灌まつりを後援。5年間出陣。 ・25年2月甲冑展示会開催手作り甲冑53領を市民に公開（毎年） ・15年10月より15年間伊勢原観光道灌まつり武者行列に参加 ・25年11月第4回かながわ観光大賞地域活性化部門を受賞。 “22年 3月より9年間大山マラソン応援に参加（這子坂にて）	
連絡担当者	氏名	石井剛雄
	所属	伊勢原手作り甲冑隊
	電話	[REDACTED]
	FAX	電話に同じ
	e-mail	[REDACTED]

第3号様式（第6条関係）

協働事業実施計画書

協働事業名	31手作り甲冑展示会・甲冑教室開催
事業の目的	甲冑展示会を開催して広く市民に手作り甲冑を公開し啓蒙する。 甲冑教室参加募集を行い、応募者を対象に甲冑教室を開催する。
事業内容	・甲冑展示会；隊員製作の甲冑を展示する。＊昨年入場者330名 会場；中央公民館展示室 甲冑展示数；70領 開催日；3日間 ・甲冑教室（種類；仏胴十六筋兜、前胴） 会場；中央公民館美術工芸室他 開催日；3月～9月 全15日 募集人員；20名。 講師；甲冑隊指導委員会
スケジュール	・甲冑展示会 会場；中央公民館展示室 9時～17時 開催日 H31年年2月15日(金)16日(土)17日(日) 3日間 ・甲冑教室 会場；中央公民館美術工芸室他 募集期間 2月15日～25日 甲冑隊事務所 ☎95-2385 甲冑展示会会場にて受付 開催日 3月17、24、31日 4月7、21日 5月12、26日 6月9、23日 7月7、21日 8月4、25日 9月1、15 全15回 開催時間 13時～17時
協働の効果	市との協働事業として実施することにより、より多くの市民にPRし展示会の集客アップ、甲冑教室応募者の増加に繋げたい。 甲冑教室の開催により、シニアの生き甲斐づくりと道灌まつり武者行列を更に盛り上げて行きたい。
役割分担	(市民活動団体の役割) ・展示会に出展する甲冑の確保と展示及び会場の案内・説明。 ・甲冑教室参加者募集。甲冑教室の運営。甲冑製作材料の手配。教本の発行と指導員の認定。製作工具の準備。その他
	(市の役割) ・会場の確保 ・広報メディアの提供

第4号様式（第6条関係）

協働事業収支予算書

協働事業名	手作り甲冑展示会・甲冑教室開催
団 体 名	伊勢原手作り甲冑隊

収入の部

区 分	見 積 額 (円)	積算根拠 (数量、単価等)
会費	380,000	19,000円X20名
収入合計額	380,000	

支出の部

区 分	見 積 額 (円)	積算根拠 (数量、単価等)
甲冑材料費	340,000	17,000円X20名
交通費助成	30,000	指導委員10名X10回X300円
消耗品費	5,900	用紙、インクトナー、ポンチ
通信費	4,100	切手82X50
支出合計額	380,000	

伊勢原手作り甲冑隊々則

第一条【名称】伊勢原手作り甲冑隊と称する。(いせはらてづくりかつちゅうたい)

第二条【事務局】伊勢原市内に置く。

第三条【目的】常に甲冑製作技術の向上を念頭に、自ら甲冑を着用し各種イベントに参加、

第四条【隊員資格】隊員は、本隊が主催する甲冑教室受講修了者とする。若しくは本隊の目的に賛同する者で、役員会の承認を得た者により構成する。但し平成 25.4.1 日現在 隊員については有資格者とする。

【賛助会員】本隊の目的に賛同し、事業活動を援助下さる個人、若しくは団体で役員会の承認を得た者をいう。

第五条【活動内容】主として以下の活動を行う。

- (1) 手作り甲冑教室の開催
- (2) 甲冑製作のための技術研鑽
- (3) 道灌まつり、その他隊の目的を達成する各種イベントへの積極的参加
- (4) 隊員相互技術向上のための研修会(各種イベント)
- (5) 伊勢原観光振興のため PR 活動
- (6) 甲冑隊の中に次の分科会を設け研鑽し活動に役立てる
①法螺貝班 ②弓槍班 ③撫子班 ④鉄砲班
- (7) その他、目的達成のため必要とされる活動

第六条【連携団体】本隊は、目的達成のため以下の団体と連携を密にして観光振興や街づくりのため協力共同する。

- (1) いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会
- (2) いせはら生涯学習ボランティア協会
- (3) 一般社団法人伊勢原市観光協会

第七条【役員】次の役員を置く。代表隊長 1 名 顧問若干名 副隊長若干名 相談役若干名
評定衆 20 名以下 事務局 3 名 会計 2 名 監査役 2 名
(注) 顧問：隊長経験者 相談役：甲冑製作、寸劇脚本作り演出等の功績ある人。

第八条【役員の任務】役員は、下記の任務を負う。

代表隊長は隊を代表し隊を代表し、隊全般を総括する。副隊長は隊長を補佐する。
評定衆は隊務を審議する。

事務局は隊の総務とする。会計は収支を管理する。但し、隊務の分担は役員会で定める。

第九条【役員任期】役員任期は 1 年とする。役員は、総会で幹部役員推薦の隊員から選出する

【選出方法】役員推薦の候補者を総会出席者 2/3 以上の賛成により選出する。但し再任も可とする。

第十条【総会及び役員会】総会は、年 1 回開催とし役員会は必要に応じて開催する。

第十一条【会費】会費は年額 2,000 円とし、初年度のみ入会金として別途 1,000 円を徴収する。

第十二条【会計年度】会計年度は、毎年 4 月 1 日～翌年 3 月末日までの期間とする。

附則：①事業支援活動に対する謝礼は役員会にて審議決定する。

【伊勢原手作り甲冑隊々則履歴】制定 2005.4.8 制定。・2006.1.15 改定。2008.6.1 改定。2009.5.31 役員数、役員の任務見直し。2010.5.30 改定 賛助会員追加。2013/04/09 改定会費 2,000 円。甲冑教室主催。隊員資格。・2014/04/27 市観光協会加入。2016/4/30 分科会創設、役員名、定数の見直し
2017/4/27 監査役 2 名に増

2

伊勢原手作り甲冑隊員: 2/28/2008
印刷

No.	氏名	
49	斉藤スミ子	
50	坂田 純一	
51	阪本 悦子	
52	佐久間 明子	
53	佐藤 幸	
54	篠原 啓介	
55	清水 利一	
56	清水 道也	
57	清水 直樹	
58	菅原 光吉	
59	鈴木 輝夫	
60	鈴木 勇稀	
61	須田 静徳	
62	関 英雄	
63	瀬戸 清規	
64	前場 君江	
65	前場 博	
66	高金 フヨ子	
67	高橋 栄子	
68	高橋 国明	
69	滝沢 今朝子	
70	滝沢 省吾	
71	田坂 為義	
72	田代千代乃	
73	田中 明子	
74	田中 昇	
75	種村 公利	
76	露木ミネ子	
77	露木 行夫	
78	鶴沢 玉雄	
79	富永 禎祐	
80	中井 春夫	
81	中川富士江	
82	中山 英之	
83	仁平 康則	
84	萩原 典男	
85	浜田 康平	
86	林 美喜男	
87	東爪 保	
88	福島 東	
89	藤本アサ子	
90	藤本 嘉一	
91	古谷 常男	
92	古屋 洋二	
93	前田 秀資	
94	真坂由紀子	
95	松倉 三千夫	
96	松村 斉	

1

伊勢原手作り甲冑隊員
印刷

No.	氏名	
1	秋森 裕	
2	旭田 恭三	
3	芦原 秀人	
4	安達 曉	
5	安達 ひろ子	
6	安部 孝規	
7	荒井美千代	
8	池上 福春	
9	石井 剛雄	
10	伊藤 克己	
11	入澤 文紀	
12	岩嶋 公好	
13	岩嶋 正美	
14	岩田 功	
15	岩松 敏則	
16	梅田 克史	
17	太田 雪生	
18	太田 良裕	
19	大沼 角次	
20	小川 栄子	
21	小川 三男	
22	荻山 広	
23	小倉 恵子	
24	笠間 早苗	
25	鍛冶 栄一	
26	片倉 貞子	
27	加藤 利子	
28	加藤 弘	
29	加藤 史夫	
30	亀井 博恵	
31	河合 敏夫	
32	川畑 豊徳	
33	川畑三千子	
34	岸 正明	
35	岸 眞知子	
36	喜多 和子	
37	喜多 実	
38	鍛代 耕作	
39	喜多野昌男	
40	喜多野八重子	
41	熊谷 洋征	
42	黄金井和彦	
43	米谷 拓磨	
44	小山 敏衛	
45	近藤 圭	
46	近藤八重子	
47	斉藤 靖男	
48	斉藤 裕三	

(3)

伊勢原手作り甲冑隊員:

No.	氏名	印刷
97	松本 悦子	
98	松本 康昌	
99	三川 勲	
100	三橋 哲	
101	三橋 香織	
102	三橋麻利寧	
103	宮腰 義明	
104	宮崎 道智	
105	武藤 俊男	
106	村山 登	
107	森内 文之	
108	柳川 幸三	
109	山口 泰子	
110	山口 靖之	
111	山本 玉代	
112	吉川 勝正	
113	若林 紘一	
114	若林 良昭	
115	若林ミヤ子	

手作り甲冑展示会・甲冑教室開催に関する協働事業協定書

伊勢原市(以下「市」といいます。)と伊勢原手作り甲冑隊(以下「甲冑隊」といいます。)は、手作り甲冑展示会・甲冑教室開催(以下「事業」といいます。)に関し、次のとおり協働事業の協定を締結します。

1 事業の目的

甲冑展示会を開催して広く市民に手作り甲冑を公開し歴史に関する知識を広めます。
また、甲冑教室参加募集を行い、応募者を対象に、甲冑教室を開催します。

2 協定の目的

本協定は、事業の実施にあたり、市と甲冑隊との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

3 協働に関する原則

市と甲冑隊とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等かつ協力的な関係を保つよう心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係をつくれます。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に考慮しながら、協働の過程や結果等の情報を公開し、市民の理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 一定の時期に事業の効果を検証・評価し、改善を行うとともに、事業の継続の可否についても検討します。

4 役割と責務

(1) 市の役割と責務

ア 情報提供

市は、甲冑隊に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 事業の実施にあたり、会場を確保します。
- ii 広報メディアの提供に協力します。

ウ 報告書に関すること。

市は、甲冑隊が作成した報告書等の内容を真摯に検討し、市政に生かすよう努めます。

(2) 甲冑隊の役割と責務

ア 情報提供

甲冑隊は、市に対し事業の実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

イ 分担業務

- i 展示会に出展する甲冑の確保及び展示を行います。

- ii 甲冑展示会場で案内及び説明を行います。
- iii 甲冑教室の運営をします。
- iv 甲冑製作材料の手配、教本の発行、指導員の認定など、教室の運営に必要なことを行います。

ウ 情報公開

甲冑隊は、事業実施の経過・内容・成果などについて、より多くの市民の目に触れるように広く一般に情報公開や情報提供をします。

エ 個人情報の保護

甲冑隊は、事業を実施する上で知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、市の個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

オ 報告書の提出

甲冑隊は、事業の内容及びその手法等についての報告書を作成し、これを市に提出します。

5 相互の連絡調整

市と甲冑隊は、相互の連絡調整を円滑に行うため、適宜、連絡調整会議等を開催して協議します。

6 協定の有効期限

本協定の有効期限は、平成31年12月31日までとします。

7 事業の評価等

市と甲冑隊は、事業の実施後に事業の評価を行います。

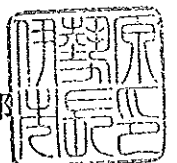
8 その他

本協定に定めのない事項で、事業を実施する上で必要と認められるものについては、市と甲冑隊が協議して定めるものとします。

平成30年12月13日

(市) 伊勢原市田中348番地

伊勢原市長 高山 松太郎



(市民活動団体)

伊勢原市田中348番地

伊勢原手作り甲冑隊

代表 若林 紘一

